六月二十八日（日）湯川渓谷登山道整備　報告

湯川渓谷登山道整備、朝の集合

午前八時に塩沢登山口に集合し、　会長から本日の作業の手順について説明があった。本日の参加者は、会員十三名と会員外の　さんの計十四名であった。刈り払い機を使った作業は上から降りてくる形の方がやりやすいのではないかということで、　さん、　さん、　さん、　さんの四名は、奥岳から登って作業することになった。　会長を先頭に十名で作業場所を目指し、出発した。　会長と　さんは重い背負子を背負いながらもたくましく前進していく。途中で　事務局が体調不良のため引き返して駐車場で待機することになった。しばらく進んで最初の鎖場付近で危険箇所作業グループは作業を始めることになり、　さん、　会長、　さん、　さんと別れ、草刈グループ五名で先を目指した。草刈りグループは　さん、　さん、　さんと　さんである。進む行程には鎖場も多く、また、沢に降りては、沢を渡り、登ってはまた下るという繰り返しをして進んでいった。途中、　さんが橋の架かり具合や渡渉箇所の撮影をして登山道の状況を確認していた。このように安心して登山道を歩くことができるのも山の会の皆様の努力の結果であると感じ、深く感謝したいと思う。午前十一時に精錬所跡に到着した。そこで、少し休憩して、いよいよ下りながらの作業開始となった。作業をしながらしばらく進んで荒竜岩付近で昼食をとることになった。その後も作業をしながら来た道をゆっくり戻っていった。私たちの作業が一段落してさらに進んでいくと　会長、　さんに再会した。　会長と　さんはもう一つ仕事をしてから戻るということで先に進んでいった。私たちのグループは　さんを加えて下山した。午後三時前に塩沢登山口に到着した。

奥岳から入った、刈払機グループ

危険箇所作業グループ、ザイルを鎖に交換中

草刈りグループ

▼久しぶりに機械を担いで腕が筋肉痛です。くろがね小屋下の塩沢分岐から一の橋まで刈り込みました。燃料切れで一部刈り残しになりましたが日当たりも良くなって歩き安くなりました。

◆◆編集後記◆◆　四三八号

◆二十八日、湯川渓谷登山道整備の日、「金剛清水」でみんなで休憩していたら、下から一人の若い外国人男性が登って来た、ショートパンツ・半袖だったか。　さん見てちょっと挨拶、休まずに登って行った。　さんに聞いてみたら、僧悟台のあたり歩いて、今晩は鉄山避難小屋に泊まるらしいという。ちょっと下で会って話したという。周りにいた女性会員「話したの！」「英語しゃべれるの？」と大騒ぎ。　さんはニコニコして「しゃべったよ」「英語ではなかった」。おそらく会の山行で外国人登山家としゃべった初めての人かも知れない。こういう事今後増えると思う。皆さん、外国人登山者と喋られる準備しておいて下さいね。

◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いのです。が、手書きも歓迎、ＦＡＸも受信できます。

六月六日（金）三本松南小登山ガイド　報告

学校出発

金曜日ですが南小学校登山で登って来ました。天気も良く子供たちも大喜びでした。

▼金曜日、南小は素直な子どもたちと一緒に私も楽しませていただきました♪

山頂集合

▼なかなか　登れない子を生徒同士が助け合い励まし合ってました

あだたら

第４３８号
発行所
郡山市喜久田町
あだたら山の会
編集部

六月二十二日（日）春の僧悟台登山道整備

参加者集合写真

僧悟台直登

報告・

六月二十八日、塩沢登山口から僧悟台経由と、奥岳登山口からの二手に分かれての刈り払い。塩沢組は、大内学さん、　さん、　さん、　さん、　さん、　さん、　さん、　さん、　さんご夫妻、

心配された雨もなく、木立の中のせいか風も心地よい中を進むと、馬返しを過ぎてすぐ、草履沼の辺りで倒木を何本か見つける。地面まで倒れて登山道を塞いでいるものもあれば、他の木に倒れかかっているものも。あれが落ちてきたらえらいことだなと話しつつ、報告のための写真撮り。先シーズンの雪の多さ、重さを実感。今年は水不足は心配しなくていいだろうなとも思う。

僧悟台まで一気に行って、刈り払いし、そのまま水場まで整備しながら進む予定だったが、僧悟台近くになると背丈ほどまで伸びた笹や、折れた枝など気になるものを「退治」しながら進む。

ツマトリソウやマイヅルソウが涼やかに咲いているが、日も高く上がって、なかなかの暑さ。お腹も空いてくる時間。そして、家の冷蔵庫にご褒美ビールを冷やしてきたかどうかなどが気になる時間となる。おそらくこの時点でAさん、Sさんは三六〇缶ではなく、五〇〇缶を買おうと決意したと思われる（私調べ）。

僧悟台でも　さんの刈り払い機の音が響き渡り、暑さと空腹で口数が減ってきた皆の代わりの熊よけ音にもなりそうで安堵する。

僧悟台から水場までは特に福島県指定天然記念物のシャクナゲ（正確には指定記念物はハクサンシャクナゲ）が、登山道を覆うように枝を伸ばしているところが多く、なかなかの難所になっている。みんな、切りたい！けど切れない！と心の中で叫んでいたに違いない。

笹平で草刈り

水場で笹を刈って居場所を確保してから昼食。十五分ほど遅れて奥岳縦走チームと合流。炭水化物を補充して一息。いただいたキュウリの漬物の美味しかったこと！

昼食後、刈り払いをしつつ下山。十六時？、十七時十五分には全員下山、整備終了。

私にとって、初めての僧悟台刈り払い参加。コースは紅葉の季節に人気とのこと。本当に素敵なコース。去年やその都度、整備してくださってる方々のおかげで通ることができる。感謝。

ただ、奥岳登山道ほどではないが、登山道が崩れたり、水が流れ込んで陥没したりしている箇所がいくつかあり、そこを避けるために新しい道ができていたりと、なかなか難しい課題がありそうだと感じた一日でした。

私の反省点、水分二リットルで足りなくて危険を感じたので、重くても水分は、多めに持つべき。

見晴らし岩での休憩

倒木の伐採作業

見晴らし岩途中の倒木

奥岳経由僧悟台

報告・

笹平の稜線、笹が伸びていない、昨年秋の刈払い効いている

【参加者】　　計十一名
が塩沢登山口からの作業班。　さん、
さん、　さん、　さん、　さん、
会員外参加の　　の計五名が奥岳からの縦走班。

【行動】塩沢登山口七時三十分集合し、奥岳から縦走して作業する班と塩沢登山口から作業する二つの班に分けて出発しました。刈払機三台、ノコギリ及び刈込鋏を使用。奥岳から縦走班は奥岳に移動。昨年同様、湿度が高く蒸し暑い状況です。刈払機の刃を外し八時三十分ゴンドラに乗り山頂駅へ到着。作業現場まで道のりが長いため、すぐに山頂に向けて出発。日曜にもかかわらず、登山客は少ない印象でしたが、刈払機を持った我々に多くの労いや感謝の言葉をいただきました。九時十五分仙女平分岐近くで休憩し、十時山頂に到着。鉄山までの道は沼ノ平からの風が非常に強く小石が顔に当たり、刈払機が風にあおられて体力を消耗しました。　会長予想では風速十八メートル。西向き地蔵を拝みながら十一時鉄山避難小屋で休憩し刈払機の刃を装着、ノコギリと刈込鋏もザックから取り出し、いざ作業開始です。昨年の九月二十九日笹平登山道整備で笹平分岐まで作業しましたので、分岐までの作業量は少なかったです。十二時笹平分岐到着。未整備のエリアですので笹が多く茂っており作業速度が急速に落ちました。生木をノコギリで切るのも木がしなり大変そうでした。刈込鋏の作業では前かがみになるので腰が辛そうでした。柄が長い刈込鋏だと地面の草は切れますが、目の高さの枝などは切りにくく道具の選定も難しいところです。十二時四十分登山道が雪渓に覆われ消えています、雪は柔らかかったので何とか登山靴で移動し、登山道を発見。会長が赤リボンを木に付け登山道の安全を確保しました。十三時十五分水場（水呑み場）で昼食。塩沢登山口班と合流。十四時水場（水呑み場）の平地を草刈りし僧悟台までの作業を再開。十五時に作業終了。今回は僧悟台から塩沢口までは未整備です。十七時に塩沢登山口に到着。怪我人もなく終了しました。

西向地蔵にお参り

笹平下の雪渓

《地名・作業時期》

編集部

◆水場・水呑み場

僧悟台コースには、「水場」が二つあります。一カ所目は塩沢登山口から入って、急な登りになる前に、二つの沢を渡ります。そこが「水場」です。さらに登って、僧悟台の平地を過ぎ上一本松から降りて、尾根に近づいたところの二カ所目の「水場」は、「水呑み場」と言います。登山道整備では、昼食場所に使われます。

場所間違えないよう、違った地名になっています。

◆笹刈の時期

笹刈は秋にやります。秋に刈ると、成長しきった笹刈るので、それ以上大きくなりません、翌年の春もそのまま。春に刈ると、夏から秋にかけて大きく育ってしまって、翌年春もそのままなので、どんどん大きくなってしまって邪魔になります。つまり笹は秋に刈るのが良いのです。

急登の前の「水場」2024-08-06

水呑み場　2023-06-04

笹平の笹刈、苅込鋏

笹平の笹刈、草刈機